

福祉について私が考えた事

伊勢原小学校

六年

佐々木

陽花

私のおじいちゃんは障害を持っていて、福

祉サービスを受けています。

おじいちゃんは六年前に沖縄に旅行へ行っ

た時に脳出血で倒れてしまいました。右脳出

血、左脳出血が原因で今は四肢の重度の麻痺

で意思の疎通も取れなく、日常生活は全てに

おいて介護が必要で、身体障害者一級です。

自分ではなにもできなくて、会話もこちらの

言うことがわかっているのかもわかりませ

私はずっとお金もかかるし色々大変だと思

ました。ですが、おばあちゃんに聞くと、障

害年金ももらって医療費も免除されているの

だそうですね。本当に助かったと言っています

た。今まで知っていますように知りませんで

した。

私はおじいちゃんのような福祉の必要な人

が、少しでも生活を送りやすく自分らしく社

会に参加できるように福祉があるのだと思っ  
ました。おじいちゃんには福祉に出れませんが  
実際に受けている本人も嬉しいだろ家族  
も嬉しいと思います。サイバスがあること自  
体嬉しいです。私は大人になったら福祉に関  
わる仕事に就き、いつかおじいちゃんの状態  
が良くなつて、もつと活動するようになって  
ら手助けしてあげたいです。福祉を必要でも  
届かない人はいると思います。必要な人に届  
けてそれで少しでも私達やみんなが幸せを分  
かち合える社会になつたら素晴らしいですし  
私はしたっています。でも福祉は幸せを指す言葉  
なので障害者の人だけではないと思っます。  
一人だけが幸せになるのも一人だけなれない  
のも違うと思っます。世界中の人たちが協力  
して幸せになるのが福祉であること、もつとそ  
んな社会に近けたこと、私は考えます。